

===== P S マガジン (製品安全情報メールマガジン) =====

製品安全についての情報をお届けします。(第2・4火曜日発行)

N I T E (ナイト)[独立行政法人製品評価技術基盤機構]

製品安全センター



夏は気温が高くなることで、身近な製品がいつもより熱を持ちやすくなります。モバイルバッテリーやスマートフォン、電動アシスト自転車など、繰り返し充電して使える「リチウムイオン電池搭載製品」では、夏場に事故が増加する傾向が見られます。

リチウムイオン電池には可燃性の電解液が含まれているため、大きな火災事故につながるおそれもあります。今回は、「リチウムイオン電池搭載製品」による火災事故を防ぐ3つのポイントを、事故事例と併せてご紹介します。夏バテ（夏のバッテリー）には十分注意してお過ごしください。



モバイルバッテリー



電動アシスト自転車



充電式電動工具



充電式掃除機



ポータブル電源



ワイヤレス炊飯器



ワイヤレススピーカー



携帯用扇風機

リチウムイオン電池搭載製品

項目一覧

1. リチウムイオン電池搭載製品の事故
2. 製品事故収集情報 (6月15日～6月28日 受付57件)

3. リコール情報 2件
4. その他の製品安全情報
 - ・製品安全4法一部改正に関する解説動画作成及び英語版サイトの更新
 - ・「NITE SAFE-Lite」のご案内
 - ・消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について
 - ・NITE公式Xアカウントのご案内

=====

1. リチウムイオン電池搭載製品の事故

=====

◆事故の実情

NITEには、2020年から2024年までの5年間に報告された「リチウムイオン電池搭載製品」の事故(※1)が1860件ありました。事故の約85%(1860件中1587件)が火災事故につながっています。また事故発生件数は春から夏にかけて気温の上昇とともに増加する傾向にあり、6月～8月にかけての事故発生件数が最も多くなっています。



東京都の平均気温は、気象庁の「過去の気象データ検索」をもとにNITEで作成したものです。

リチウムイオン電池搭載製品の月別事故発生件数

製品別では「モバイルバッテリー」の事故が最も多く、その他、電動アシスト自転車、充電式掃除機、充電式電動工具、ポータブル電源などの事故が多く報告されています。

※1 事故件数の中には、調査中の事故や原因は特定されていないがリチウムイオン電池に起因した可能性があると推定される事故も含まれています。

◆事故事例

【事故事例.1】

電動アシスト自転車用バッテリー及び周辺を焼損する火災が発生しました。(2022年6月 愛知県 40歳代・男性 拡大被害)

→バッテリー内部の湿気が、内蔵されたリチウムイオン電池セルのつなぎ目から浸入し、

劣化等により内部ショートが生じて異常発熱し、発火したものと考えられます。本件は、リコール対象製品による事故でした。購入後にリコール情報を確認しなかったことによる事故です。



電動アシスト自転車用バッテリーが発火する様子（再現イメージ画像）

【事故事例.2】

自動車内でモバイルバッテリーを焼損する火災が発生しました。（2023年8月 熊本県 40歳代・男性 拡大被害）

→モバイルバッテリーに内蔵されているリチウムイオン電池セルが異常発熱し発火したものと考えられます。夏場に高温下の自動車内に放置したことによる事故です。



自動車内でモバイルバッテリーが発火する様子（再現実験）

【事故事例.3】

モバイルバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生しました。（2021年9月 沖縄県 30歳代・男性 拡大被害）

→使用者が膨張したモバイルバッテリーを押し込んで元に戻そうとした際に、外力が加わり、内部のリチウムイオン電池セルが内部ショートし、異常発熱して発火したと考えられます。膨張したバッテリーに衝撃を与えたことによる事故です。



膨張したモバイルバッテリー
(再現実験)

◆気を付けるポイント

「リチウムイオン電池搭載製品」の火災事故を防ぐ3つのポイント

(1) 正しく購入する

○連絡先が確かなメーカーや販売店から購入しましょう。

不具合や事故発生後に事業者からの補償を受けられない、事業者と連絡が取れないなどの事態が発生しています。販売元の情報を確認し、サポートが日本語に対応しているかどうか、連絡先（電話番号や住所）が実在するか確認しましょう。

○リコール対象ではないことを確認して購入し、購入後も常に最新の情報をチェックしましょう。

リコール対象の「リチウムイオン電池搭載製品」による事故が2020年から2024年までの5年間で360件以上発生しています。お持ちの製品がリコール対象になっていないか今一度ご確認ください。毎号でご案内している「NITE SAFE-Lite」で、リコール情報を検索できます。ぜひご活用ください。

<https://safe-lite.nite.go.jp/>

消費者庁のリコール情報検索サイトでも確認できます。

<https://www.recall.caa.go.jp/>

もしリコールの対象となっている製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店や製造・輸入事業者にご相談をしてください。

○安価な「非純正バッテリー（※2）」に潜むリスクについて理解しましょう。

安価で入手しやすい「非純正バッテリー」で火災を伴う事故が多く発生しています。

- ・設計に問題があり、異常発生時に安全保護装置が作動しない場合がある。
- ・品質管理が不十分で、通常の使用であっても事故に至る場合がある。
- ・事故が発生した際に、事業者の対応や保証が受けられない場合がある。

安価である分、安全のためのコストが削られている場合がありますので、安価な非純正

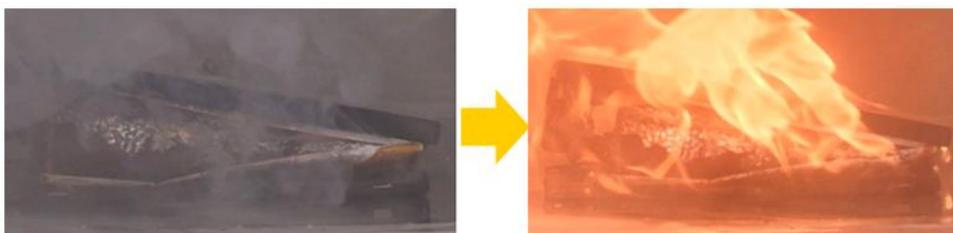
バッテリーには“高リスク“のものが潜んでいることを理解しましょう。

※2 機器本体のメーカーとは無関係の事業者から販売されているバッテリーで、機器本体のメーカーが、そのバッテリーの設計や品質管理に一切関与していないもの。

(2) 正しく使用する

○高温下に放置するなどして熱を与えないようにしましょう。

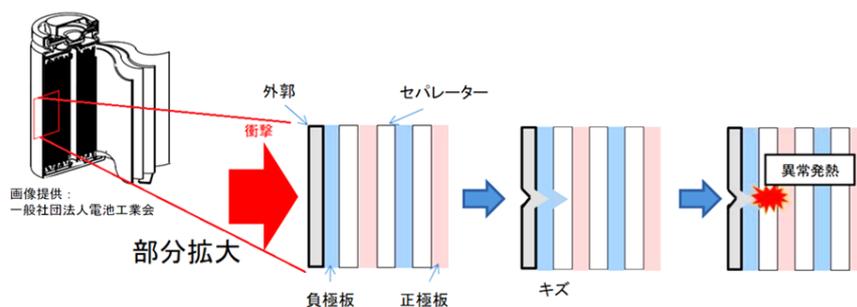
リチウムイオン電池は、高温環境下では熱の影響で異常な反応が起きて発熱・破裂・発火するおそれがあります。直射日光の当たる場所や暑い日の車内などの高温下には放置しないでください。



高温によるモバイルバッテリーからの出火（再現実験）

○強い衝撃を与えないようにしましょう。

リチウムイオン電池は外部からの衝撃が加わると内部に傷が付くことで内部ショートが生じ、発煙や発火につながります。また、膨張を元に戻そうとして強い力が加わったことで異常発熱して出火した事故も発生しています。地面に落としたり無理な力を加えたりしないようにしてください。



(3) 正しく対処する

○充電・使用時は時々様子を見て、異常を感じたらすぐに充電・使用を中止しましょう。

充電・使用時は時々様子を見て、以下のような異常を発見した場合は、すぐに充電・使用を中止して、お買い求めの販売店や製造・輸入事業者にご相談してください。

- 充電できない。
- 充電中に以前よりも熱くなる。

- ☑ 膨らんで変形している。
- ☑ 落とす、ぶつけるなどで強い衝撃を与え、一部が変形している。
- ☑ 不意に電源が切れる。

【事故事例.3】のように、膨らんだリチウムイオン電池の内部には可燃性ガスがたまっています。このような状態の電池に強い外力を加えると、可燃性ガスが噴き出し、発火するおそれがあり、特に注意が必要です。



○万が一発火した場合は大量の水で消火し、可能な限り水没させた状態で、119 番通報しましょう。

万が一発火した場合、煙や炎が噴き出している時は絶対に近寄らないでください。モバイルバッテリーのようにポケットに入る小型サイズのものであれば、火花が収まったら、大量の水を掛けることで消火することができます。消火後は、可能な限り水没させた状態で、消防機関へ通報してください。リチウムイオン電池は消火後も熱をもっているため、火が消えた後に冷却しないまま可燃物に接触させると新たな火災につながるおそれがあります。

上記の対処が困難と判断した場合は、身の安全の確保を第一に 119 番通報してください。



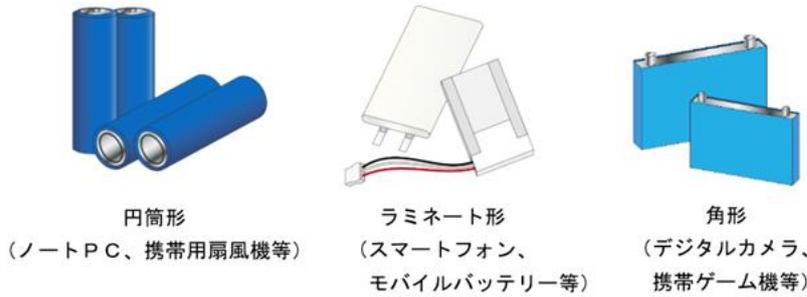
大量の水で消火している様子
(再現実験)

消火後に水没させる様子
(再現実験)

【参考】

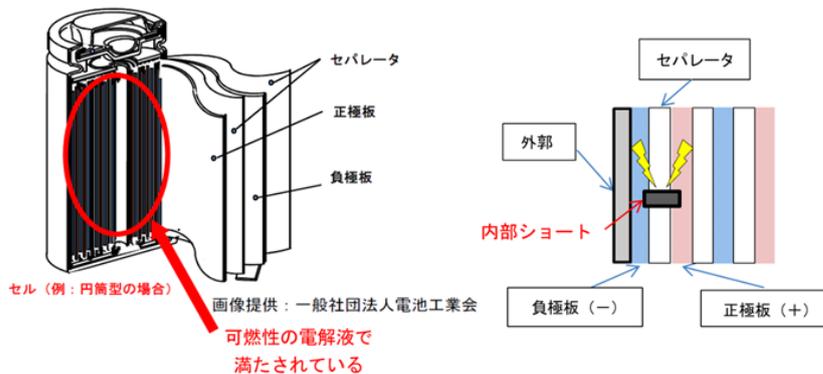
(1) リチウムイオン電池の種類

リチウムイオン電池は、用途に応じて円筒形・ラミネート形・角形の 3 種類の形状があります。



(2) リチウムイオン電池の構造

リチウムイオン電池の内部は、正極板と負極板をセパレーターで隔離している構造となっており、正極板と負極板の間でリチウムイオンと電子をやりとりすることで電気エネルギーを生み出しています。正極板と負極板が何らかの理由で電氣的につながることが内部ショートと呼ばれ、異常発熱・発火につながります。



■NITEでは、6月26日に注意喚起として、“『夏バテ(夏のバッテリー)』にご用心～「リチウムイオン電池搭載製品」の火災事故を防ぐ3つのポイント～”をプレスリリースしています。今回ご紹介した事故の詳しい分析結果のほかにも、モバイルバッテリーのヒヤリハット・事故の経験の有無と内容に関するアンケート調査結果などの結果情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/press/2025fy/prs250626.html>

新作動画 モバイルバッテリー「8.異常・発火時はどうする？」

<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/poster/kaden/20240626.html>

2. 製品事故収集情報



消費生活用製品の事故情報収集状況
(6月15日～6月28日 受付57件)



NITE に通知のあった事故情報から、件数の多い製品を掲載します。

製品名	(事故状況と件数)
1. モバイルバッテリー	(火災等 5件)
2. 電子レンジ	(火災等 4件)
2. 洗面化粧台	(破損等 4件)
3. IH 調理器	(火災等 3件)
3. 太陽光発電システム	(火災等 3件)
3. はしご	(破損等 3件)
3. 照明器具 (LED ランプなど)	(火災等 3件)

洗面化粧台は全て同一メーカーのリコール事案(キャビネット落下)になります。

◇最新事故情報 (これまでの受付情報もご確認いただけます)

<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/information/index.html>

■事故情報の提供をお願いいたします。

事故の再発防止のため、有効に活用させていただきます。

<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/shushu/index.html>

3. リコール情報

◆Bigblue Tech 株式会社 (法人番号：4140001118229)

「リチウム電池内蔵充電器」2025年7月1日 (HP)

【詳細】 <https://www.ibigblue.co.jp/pages/>

◆株式会社 F O O L S (法人番号：5011201021242)

「靴 (スニーカー)」2025年6月12日 (HP)

【詳細】 <https://grounds-fw.jp/blogs/news/importantrecallnotice-for-skyscraper-skyscraper-wire>

オンライン受付フォーム (24時間)

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdlkOZjMB-yYNRafsZwGO2fv6TN2Jvl6uXKJKEstqG0bd1F7A/viewform>

4. その他の製品安全情報

◆◆◇ 製品安全 4 法一部改正に関する解説動画作成及び英語版サイトの更新 ◇◆◆

経済産業省 製品安全課

経済産業省では、令和 7 年 1 2 月に施行される「消費生活用製品安全法等の一部を改正する法律」の概要や、主な改正内容についての解説動画や、英語サイト（海外事業者向け）をこの度、整備いたしました。海外からオンラインモール等を通じて日本国内の消費者に製品を販売する事業者や、子供向け製品の製造・輸入・販売事業者におかれては、ぜひご覧ください。

以下リンク先に日本語版と英語版の紹介サイトを掲載しております。

【日本語版】

- ・（ベース）製安 4 法の解説動画（3 分半）
<https://www.youtube.com/watch?v=GuLbROueXFk>
- ・改正法の概要動画（4 分）
<https://www.youtube.com/watch?v=6RRda5ZYpUI>

【英語版】

1. 解説動画

- ・（ベース）製安 4 法の解説（3 分 44 秒）
<https://www.youtube.com/watch?v=ltcJWVvVays>
- ・改正法の概要動画（3 分半）
<https://www.youtube.com/watch?v=HatWmLQ2X7Y&t=209s>

2. 製品安全 4 法に関する解説ページ（更新版：各法の事業者向けガイド等）

https://www.meti.go.jp/english/policy/economy/consumer/product_safety/index.html

ぜひご覧ください。

◆◆◇ 「NITE SAFE-Lite」のご案内 ◇◆◆

NITE は、より安心・安全な社会になることを目指して、製品安全に関する情報を発信しており、NITE のウェブサイト、製品事故の調査結果、リコール情報や誤使用に関する注意喚起などを提供しています。その中で、製品事故情報をどなたでも簡単にウェブ検索できるシステムとして、「NITE SAFE-Lite」というサービスを提供しています。

「NITE SAFE-Lite」は、サービス開始以来、多くの方にご活用いただいています。スマー

トフォンの小さな画面とタッチ操作に配慮したシンプルな操作性で、6万件にも及ぶ製品事故情報を専門用語（例えば「異音」）でなく普段お使いの言葉（例えば「ガラガラ」）で検索できます。

「NITE SAFE-Lite」で製品事故を検索すると、同じ現象の事故だけではなく、よく似た事故情報も表示されます。これにより、様々な視点から事故となる危険性やその場合の被害状況などが「見える化」され、事故の未然防止につながります。

【NITE SAFE-Lite】

<https://safe-lite.nite.go.jp/>

◆◆◇ 消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について ◇◆◆

消費者庁

消費者庁は、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表しています。

07/15 13件

https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms202_250715_1.pdf

07/11 24件

https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms202_250711_01.pdf

07/08 09件

https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms202_250708_01.pdf

◆◆◇ NITE 公式 X アカウントのご案内 ◇◆◆

NITE では、公式アカウントを開設しています。

X でも、シーズンに合わせて、皆様の生活の安全を守るためにどんどん発信していきますので、フォローやいいねをお待ちしております！

X アカウント→@NITE_JP

=====
編集後記
=====

携帯用扇風機が普及してから、街中で「うちわ」を持つ人をあまり見かけなくなりましたね。駅前で販促用に配られていたことも今では懐かしい光景です。

しかし、(編)は携帯用扇風機をもっておらず、頑なに「うちわ」派です。「うちわ」の場合は、風が広範囲に広がるので、あおいで涼むだけでなく、蚊などの虫払いができるのでいいですよ。むしろそれが持ち歩く主目的になっています。落としても、踏んでも出火する心配のない、リチウムイオン電池レスの「うちわ」も悪くはないですよ。

=====

P S マガジン配信先の紹介等 P S マガジンの普及にご協力をお願い致します。また、社内報や広報誌、回覧板などへの掲載も歓迎致します。

P S マガジンに関するお問い合わせ、「その他の製品安全情報」欄へ掲載のご希望などがありましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。(ps●nite.go.jp) (●を@に変えて送信してください)

配信登録や解除、配信メールアドレスの変更は、下記HPからお願い致します。(P S マガジンのバックナンバーも掲載しています)

<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/mailmagazin/index.html>

【編集・発行】 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
製品安全センター 製品安全広報課
(法人番号 9011005001123)

<https://www.nite.go.jp/jiko/index.html>



★★★NITE は 2025 年大阪・関西万博 を応援しています★★★